

C10M 潤滑組成物（さく井用組成物 C09K8/02）；単独の潤滑剤としての、または潤滑組成物の潤滑成分としての化学物質の使用（金属用の離型、すなわち分離剤 B22C3/00, プラスチック用またはプラスチック状の物質用一般 B29C33/56, ガラス用 C03B40/02; 繊維用潤滑組成物 D06M11/00, D06M13/00, D06M15/00; 顕微鏡検査用液浸オイル G02B21/33）[4]

注

(1) このサブクラスにおいては、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：

“潤滑剤”または“潤滑組成物”は切削油、作動液、金属引抜き油、フラッシング油、防錆油または類似のものを含む；

“脂肪族”は“環式脂肪族”を含む。[4]

(2) このサブクラスにおいては、ラストブレイス優先ル-ルが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な箇所に分類する。したがって芳香族環を有する化合物は、その分子の環部分あるいは脂肪族部分のいずれの置換基にその特徴を有しているかにかかわらず、芳香族として分類する。[4]

(3) このサブクラスにおいては：

(a) 化合物の金属塩あるいはアンモニウム塩は、当該化合物として分類する。；

(b) 2以上の有機化合物から形成された塩あるいはアダクトは必要ならばこれらを形成するすべての化合物に従って分類する。；

(c) 高分子炭化水素ラジカルによって置換された特定の化合物、例えばフェノ-ル、酸、は当該化合物として分類する；

(d) 混合物として特定のメイングル-ブが設けられていない時、混合物を構成する基材または増稠剤または添加剤は、混合物のすべての本質的な構成成分を包含する最も下位のグル-ブに分類する。

例えば、

ケトンとアミドの基材混合物グル-ブ C10M105/00;

ケトンとエ-テルとの基材混合物グル-ブ C10M105

/08;

長鎖エステルと短鎖エステルとの添加剤混合物グル-ブ C10M129/00;

短鎖脂肪族カルボン酸と芳香族カルボン酸との添加剤混合物グル-ブ C10M129/26;

(e) 別に分類される、水を 10%よりも多く含有する水性潤滑剤の場合を除いて、特徴づける成分タイプ（基材、増稠剤または添加剤）によって、または成分のタイプの混合物によって分類する。混合物全体としてよりも、むしろその成分の 1 つのみによって特徴づけられる本質的な成分を含む混合物は、混合物として分類されないことに注意すること。

例、

既知の基材と新規添加剤とからなる潤滑組成物は分類表の“添加剤”の箇所にのみ分類する。

既知の基材と、本質的な成分としての複数の増稠剤および添加剤とからなる潤滑組成物は、増稠剤または添加剤が既知であるか否かにかかわらず、増稠剤および添加剤の混合物として分類する。

既知の基材と、本質的な成分としての複数の添加剤の組合せとからなる潤滑組成物は、添加剤が個々に既知であるか否かにかかわらず、添加剤の混合物としての適切な箇所に分類する。[4]

(4) 注(2)または(3)に従った分類によっては特定されないが、それ自体が新規かつ非自明と判断される組成物の一部分もまた、最後の適切な箇所に分類しなければならない。当該部分は、単一の成分または組成物の何れかであり得る。[8]

(5) 注(2)-注(4)に従った分類によっては特定されないが、検索に有用な情報を表していると考えられる組成物の一部分もまた、最後の適切な箇所に分類してもよい。これは、例えば、分類記号の組合せを用いた組成物の検索を可能とすることが有用であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は、「付加情報」として付与される。[8]

(6) このサブクラスにおいては、サブクラス C10N のインデキシングコードを付与することが望ましい。[4]

サブクラス内の索引

基材	
鉱油または脂肪油.....	101/00
無機材料.....	103/00
非高分子有機化合物.....	105/00
高分子化合物.....	107/00
構造が不明または不明確な化合物.....	109/00
混合物.....	111/00,169/00
増稠剤	
無機材料.....	113/00
非高分子有機化合物.....	115/00,117/00
高分子化合物.....	119/00
構造が不明または不明確な化合物.....	121/00
混合物.....	123/00,169/00
添加剤	
無機材料.....	125/00
非高分子有機化合物.....	127/00-139/00
高分子化合物.....	143/00-155/00
構造が不明または不明確な化合物.....	159/00
混合物.....	141/00,157/00,161/00-169/00
物理的性質によって特徴づけられる組成物..	171/00
水性組成物.....	173/00
再生.....	175/00
調製または後処理.....	177/00

基材 [4]

101/00 鉱油または脂肪油である基材によって特徴づけられる潤滑組成物（水を 10%よりも多く含有するもの C10M173/00）[4]

101/02 ・石油留分 [4]

101/04 ・脂肪油留分 [4]

103/00 無機材料である基材によって特徴づけられる潤滑組成物（水を 10%よりも多く含有するもの C10M173/00）[4]

A ホウ素含有化合物、例、窒化ホウ素

Z その他のもの、例、シリカ、As₂・S₃、混合物、石英ガラス

103/02 ・炭素；黒鉛 [4]

A ハロゲン化黒鉛、例、フッ化黒鉛、[CF]_x

Z その他のもの、例、グラファイト

103/04 ・金属；合金 [4]

103/06 ・金属化合物 [4]

A 酸素含有化合物、例、PbO、CaCO₃

B ハロゲン含有化合物、例、CaF₂、蛍石

C 硫黄、セレンまたはテルル含有化合物、例、MoS₂、WSe₂

D リン含有化合物、例、リン酸亜鉛

E ケイ素含有化合物

F ・雲母、粘土、タルク

G ガラス〔石英ガラス、シリカ 103/00Z〕

Z その他のもの

105/00 非高分子有機化合物である基材によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]

105/02 ・構造が明確な炭化水素（石油留分 C10M101/02）[4]

105/04 ・脂肪族 [4]

105/06 ・芳香族 [4]

105/08 ・酸素を含有するもの [4]

105/10 ・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したヒドロキシル基を有するもの [4]

105/12 ...モノヒドロキシ [4]

105/14 ...ポリヒドロキシ [4]

105/16	・・6員芳香環の炭素原子に結合したヒドロキシシル基を有するもの [4]	105/80	・グル - プ C10M105/02-C10M105/78 に分類されない元素の原子を含有するもの [4]
105/18	・・エ - テル, 例 . エポキシド [4]	107/00	高分子化合物である基材によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
105/20	・・アルデヒド ; ケトン [4]	107/02	・炭化水素重合体 ; 酸化により変性された炭化水素重合体 [4]
105/22	・・カルボン酸またはその塩 [4]	107/04	・・ポリエチレン [2006.01]
105/24	・・非環式炭素原子または環式脂肪族炭素原子または水素に結合したカルボキシシル基を 1 個のみを有するもの [4]	107/06	・・プロペンを含有するもの [4]
105/26	・・非環式炭素原子または環式脂肪族炭素原子に結合したカルボキシシル基を 2 個以上有するもの [4]	107/08	・・ブテンを含有するもの [4]
105/28	・・6員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシシル基を 1 個のみ有するもの [4]	107/10	・・5 個以上の炭素原子を有する脂肪族単量体を含有するもの [4]
105/30	・・6員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシシル基を 2 個以上有するもの [4]	107/12	・・芳香族単量体を含有するもの, 例 . スチレン [4]
105/32	・・エステル [4]	107/14	・・共役ジエンを含有するもの [4]
105/34	・・モノカルボン酸の [4]	107/16	・・非共役ジエンを含有するもの [4]
105/36	・・ポリカルボン酸の [4]	107/18	・・酸化により変性された炭化水素重合体 [4]
105/38	・・ポリヒドロキシ化合物の [4]	107/20	・酸素を含有するもの (C10M107/18 が優先) [4]
105/40	・・遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシシル基を含有するもの [4]	107/22	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]
105/42	・・複合エステル, すなわちエステル化されたカルボキシシル基を少なくとも 3 個含有し, かつ次の 5 種の化合物のうち相違する少なくとも 3 種からの組合せにより誘導した化合物: モノヒドロキシ化合物, ポリヒドロキシ化合物, モノカルボン酸, ポリカルボン酸, ヒドロキシカルボン酸 [4]	107/24	・・アルコ - ル, アルデヒド, ケトン, エ - テル, ケタ - ルまたはアセタ - ル基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]
105/44	・・・モノカルボン酸, ジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物の組合せのみから誘導され, かつ遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシシル基を有しないもの [4]	107/26	・・飽和カルボン酸または炭酸のアシルオキシ基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]
105/46	・・・モノヒドロキシ化合物, ジヒドロキシ化合物およびジカルボン酸の組合せのみから誘導され, かつ遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシシル基を有しないもの [4]	107/28	・・カルボキシシル基に結合した不飽和基を有する単量体, 例 . アクリレ - ト, を含有するもの [4]
105/48	・・炭酸の [4]	107/30	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
105/50	・ハロゲンを含有するもの [4]	107/32	・・アルデヒドまたはケトンの重縮合体 ; ポリエステル ; ポリエ - テル [4]
105/52	・炭素, 水素およびハロゲンのみを含有するもの [4]	107/34	・・・ポリオキシアルキレン [4]
105/54	・炭素, 水素, ハロゲンおよび酸素を含有するもの [4]	107/36	・・多糖類, 例 . セルロ - ス [4]
105/56	・窒素を含有するもの [4]	107/38	・ハロゲンを含有するもの [4]
105/58	・・アミン, 例 . ポリアルキレンポリアミン, 第 4 級アミン (単量体単位を 11 個以上有するポリアルキレンポリアミン C10M107/44) [4]	107/40	・窒素を含有するもの [4]
105/60	・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したアミノ基を有するもの [4]	107/42	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]
105/62	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]	107/44	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
105/64	・・6員芳香環の炭素原子に結合したアミノ基を有するもの [4]	107/46	・硫黄を含有するもの [4]
105/66	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]	107/48	・りんを含有するもの [4]
105/68	・・アミド ; イミド [4]	107/50	・けい素を含有するもの [4]
105/70	・・環のヘテロ原子として [4]	107/52	・ほう素を含有するもの [4]
105/72	・硫黄, セレンまたはテルルを含有するもの [4]	107/54	・グル - プ C10M107/02-C10M107/52 に分類されない元素の原子を含有するもの [4]
105/74	・りんを含有するもの [4]	109/00	構造が不明または不明確な化合物である基材によって特徴づけられる潤滑組成物 (C10M101/00 が優先) [4]
105/76	・けい素を含有するもの [4]	109/02	・反応生成物 [4]
105/78	・ほう素を含有するもの [4]	このグル - プに分類するとき, 検索に有用な情報を表していると考えられる反応生成物の反応成分もまた, 最後の適切な箇所に分類してもよい。これは, 例えば, 分類記号の組合わせを用いた組成物の検索を可能とすることが有用であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は, “付加情報” として付与される。 [8]	

111/00	メイングル - プ C10M101/00-C10M109/00 の 2 以上のメイングル - プによって包含される 2 以上の化合物の混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である基材によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	119/10	... 飽和カルボン酸または炭酸のアシルオキシシル基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]
111/02	・少なくとも 1 個の化合物が非高分子有機化合物であるもの [4]	119/12	... カルボキシシル基に結合した不飽和基を有する単量体、例、アクリレ - ト、を含有するもの [4]
111/04	・少なくとも 1 個の化合物が高分子有機化合物であるもの [4]	119/14	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
111/06	・少なくとも 1 個の化合物がグル - プ C10M109/00 に包含されるタイプの化合物であるもの [4]	119/16	... アルデヒドまたはケトンの重縮合体；ポリエステル；ポリエ - テル [4]
増稠剤 [4]		119/18	... ポリオキシアルキレン [4]
グル - プ C10M113/00-C10M123/00 においては、下記の用語は以下に示す意味で用いる：		119/20	・多糖類、例、セルロ - ス [4]
・“増稠剤”とは他の液体を固化してグリ - スを形成する配合剤である。固体成分からなる固体潤滑剤は、グル - プ C10M101/00-C10M111/00 に分類される。		119/22	・ハロゲンを含有するもの [4]
113/00	無機材料である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	119/24	・窒素を含有するもの [4]
113/02	・炭素；黒鉛 [4]	119/26	・硫黄を含有するもの [4]
113/04	・いおう [4]	119/28	・りんを含有するもの [4]
113/06	・金属；合金 [4]	119/30	・グル - プ C10M119/02-C10M119/28 に分類されない元素の原子を含有するもの [4]
113/08	・金属化合物 [4]	121/00	構造が不明または不明確な化合物である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
113/10	・粘土；雲母 [4]	121/02	・石油留分、例、タ - ル [4]
113/12	・シリカ [4]	121/04	・反応生成物 [4]
113/14	・ガラス [4]	このグル - プに分類するとき、検索に有用な情報を表していると考えられる反応生成物の反応成分もまた、最後の適切な箇所に分類してもよい。これは、例えば、分類記号の組合わせを用いた組成物の検索を可能とすることが有用であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は、「付加情報」として付与される。[8]	
113/16	・有機化合物で処理した、例、被覆した、無機材料 [4]	123/00	メイングル - プ C10M113/00-C10M121/00 の 2 以上のメイングル - プによって包含される 2 以上の化合物の混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物（有機化合物で被覆した無機材料 C10M113/16）[4]
115/00	カルボン酸またはその塩以外の非高分子有機化合物である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	123/02	・少なくとも 1 個の化合物が非高分子化合物であるもの [4]
115/02	・炭化水素（石油留分 C10M121/02）[4]	123/04	・少なくとも 1 個の化合物が高分子化合物であるもの [4]
115/04	・酸素を含有するもの [4]	123/06	・少なくとも 1 個の化合物がグル - プ C10M121/00 に包含されるタイプの化合物であるもの [4]
115/06	・ハロゲンを含有するもの [4]	添加剤 [4]	
115/08	・窒素を含有するもの [4]	125/00	無機材料である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
115/10	・硫黄を含有するもの [4]	125/02	・炭素；黒鉛 [4]
115/12	・りんを含有するもの [4]	125/04	・金属；合金 [4]
117/00	非高分子カルボン酸またはその塩である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	125/06	・硫黄 [4]
117/02	・非環式炭素原子または環式脂肪族炭素原子または水素に結合したカルボキシシル基を 1 個のみ有するもの [4]	125/08	・金属炭化物または水素化物 [4]
117/04	・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]	125/10	・金属酸化物、水酸化物、炭酸塩または重炭酸塩 [4]
117/06	・非環式炭素原子または環式脂肪族炭素原子に結合した 2 個以上のカルボキシシル基を有するもの [4]	125/12	・金属カルボニル [4]
117/08	・6 員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシシル基を 1 個のみ有するもの [4]	125/14	・水（水を 10% よりも多く含有する水性潤滑組成物 C10M173/00）[4]
117/10	・6 員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシシル基を 2 個以上有するもの [4]	125/16	・過酸化水素；酸素飽和水 [4]
119/00	高分子化合物である増稠剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	125/18	・ハロゲン含有化合物 [4]
119/02	・炭化水素重合体；酸化により変性された炭化水素重合体 [4]	125/20	・窒素含有化合物 [4]
119/04	・酸素を含有するもの（酸化により変性された炭化水素重合体 C10M119/02）[4]	125/22	・硫黄、セレンまたはテルル含有化合物 [4]
119/06	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]	125/24	・りん、ひ素またはアンチモン含有化合物 [4]
119/08	... アルコ - ル、アルデヒド、ケトン、エ - テル、ケタ - ルまたはアセタ - ル基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]	125/26	・けい素またはほう素含有化合物、例、シリカ、砂 [4]
		125/28	・ガラス [4]
		125/30	・粘土 [4]

127/00	非高分子炭化水素である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物（石油留分 C10M159/04） [4]	129/78	・・・複合エステル，すなわちエステル化されたカルボキシル基を少なくとも 3 個含有し，かつ次の 5 種の化合物のうち相違する少なくとも 3 種からの組合せにより誘導した化合物：モノヒドロキシ化合物，ポリヒドロキシ化合物，モノカルボン酸，ポリカルボン酸，ヒドロキシカルボン酸 [4]
127/02	・構造が明確な脂肪族のもの [4]	129/80	・・・モノカルボン酸，ジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物の組合せのみから誘導され，かつ遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシル基を有しないもの [4]
127/04	・構造が明確な芳香族のもの [4]	129/82	・・・モノヒドロキシ化合物，ジヒドロキシ化合物およびジカルボン酸の組合せのみから誘導され，かつ遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシル基を有しないもの [4]
127/06	・アルキル化芳香族炭化水素 [4]	129/84	・・・炭酸の [4]
129/00	酸素を含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	129/86	・30 個以上の原子数の炭素鎖を有するもの [4]
129/02	・30 個より少ない原子数の炭素鎖を有するもの [4]	129/88	・・・ヒドロキシ化合物 [4]
129/04	・・・ヒドロキシ化合物 [4]	129/90	・・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したヒドロキシシル基を有するもの [4]
129/06	・・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したヒドロキシシル基を有するもの [4]	129/91	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合したヒドロキシシル基を有するもの [4]
129/08	・・・少なくとも 2 個のヒドロキシシル基を含有するもの [4]	129/92	・・・カルボン酸 [4]
129/10	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合したヒドロキシシル基を有するもの [4]	129/93	・・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したカルボキシル基を有するもの [4]
129/12	・・・縮合環を有するもの [4]	129/94	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシル基を有するもの [4]
129/14	・・・少なくとも 2 個のヒドロキシシル基を含有するもの [4]	129/95	・・・エステル [4]
129/16	・・・エ - テル [4]	131/00	ハロゲン含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
129/18	・・・エポキシド [4]	131/02	・炭素，水素およびハロゲンのみを含有するもの [4]
129/20	・・・4 個以上の環原子を有する環状エ - テル，例．フラン，ジオキソラン [4]	131/04	・脂肪族の [4]
129/22	・・・過酸化物；オゾン化物 [4]	131/06	・芳香族の [4]
129/24	・・・アルデヒド；ケトン [4]	131/08	・炭素，水素，ハロゲンおよび酸素を含有するもの [4]
129/26	・・・カルボン酸；その塩 [4]	131/10	・・・アルコ - ル；エ - テル；アルデヒド；ケトン [4]
129/28	・・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したカルボキシル基を有するもの [4]	131/12	・・・酸；その塩またはエステル [4]
129/30	・・・7 個以下の炭素原子を有するもの [4]	131/14	・ハロゲン化ワックス [4]
129/32	・・・モノカルボン酸 [4]	133/00	窒素を含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
129/34	・・・ポリカルボン酸 [4]	133/02	・30 個より少ない原子数の炭素鎖を有するもの [4]
129/36	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]	133/04	・・・アミン，例．ポリアルキレンポリアミン；第 4 級アミン（単量体単位を 11 個以上有するポリアルキレンポリアミン C10M149/22） [4]
129/38	・・・8 個以上の炭素原子を有するもの [4]	133/06	・・・非環式または環式脂肪族炭素原子に結合したアミノ基を有するもの [4]
129/40	・・・モノカルボン酸 [4]	133/08	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]
129/42	・・・ポリカルボン酸 [4]	133/10	・・・環式脂肪族 [4]
129/44	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]	133/12	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合したアミノ基を有するもの [4]
129/46	・・・環式脂肪族の [4]	133/14	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]
129/48	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合したカルボキシル基を有するもの [4]	133/16	・・・アミド；イミド [4]
129/50	・・・モノカルボン酸 [4]	133/18	・・・炭酸またはハロギ酸の [4]
129/52	・・・ポリカルボン酸 [4]	133/20	・・・尿素；セミカルバジド；アロファネ - ト [4]
129/54	・・・ヒドロキシシル基を含有するもの [4]		
129/56	・・・構造が不明または不明確な酸 [4]		
129/58	・・・ナフテン酸 [4]		
129/60	・・・ト - ル油酸 [4]		
129/62	・・・ロジン酸 [4]		
129/64	・・・重合不飽和酸から得られる酸 [4]		
129/66	・・・エポキシ化された酸またはエステル [4]		
129/68	・・・エステル（エポキシ化されたもの C10M129/66） [4]		
129/70	・・・モノカルボン酸の [4]		
129/72	・・・ポリカルボン酸の [4]		
129/74	・・・ポリヒドロキシ化合物の [4]		
129/76	・・・遊離のヒドロキシシル基またはカルボキシル基を含有するもの [4]		

133/22	…炭素 - 窒素二重結合を含有するもの、 例、グアニジン、ヒドラゾン、セミカルバゾン [4]
133/24	…ニトリル [4]
133/26	…窒素 - 窒素二重結合を含有するもの [4]
133/28	…アゾ化合物 [4]
133/30	…窒素 - 酸素結合を含有するもの [4]
133/32	…ニトロ基を含有するもの [4]
133/34	…ニトロソ基を含有するもの [4]
133/36	…ヒドロキシルアミン [4]
133/38	…複素環式窒素化合物 [4]
133/40	…窒素および炭素のみを含有する 6 員環 [4]
133/42	……トリアジン [4]
133/44	…窒素および炭素のみを含有する 5 員環 [4]
133/46	……イミダゾ - ル [4]
133/48	…窒素および酸素の双方を含有する環 [4]
133/50	……モルホリン [4]
133/52	・30 個以上の原子数の炭素鎖を有するもの [4]
133/54	…アミン [4]
133/56	…アミド；イミド [4]
133/58	…複素環式化合物 [4]
135/00	硫黄，セレンまたはテルルを含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
135/02	・硫化化合物 [4]
135/04	…炭化水素 [4]
135/06	…エステル，例、脂肪 [4]
135/08	・硫黄 - 酸素結合を含有するもの [4]
135/10	…スルホン酸またはその誘導体 [4]
135/12	・チオ酸；チオシアネ - ト；その誘導体 [4]
135/14	…炭素 - 硫黄二重結合を有するもの [4]
135/16	…チオ尿素型，すなわち <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}< \end{array}$ </div> 基を含有するもの [4]
135/18	…チオカルバミン酸型，すなわち <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{S}- \\ \parallel \\ \text{S} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{O}- \end{array}$ </div> 基を含有するもの [4]
135/20	・チオ - ル；スルフィド；ポリスルフィド [4]
135/22	…非環式または環式脂肪族炭素原子に結合した硫黄原子を含有するもの [4]
135/24	…ヒドロキシル基を含有するもの；その誘導体 [4]
135/26	…カルボキシル基を含有するもの；その誘導体 [4]

135/28	…6 員芳香環の炭素原子に結合したいおう原子を含有するもの [4]
135/30	…ヒドロキシル基を含有するもの；その誘導体 [4]
135/32	・複素環式いおう，セレンまたはテルル化合物 [4]
135/34	…環がいおうおよび炭素のみを含有するもの [4]
135/36	…環がいおうおよび炭素，さらに窒素または酸素を含有するもの [4]
137/00	りんを含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
137/02	・りん - 炭素結合を有しないもの [4]
137/04	…りん酸エステル [4]
137/06	…金属塩 [4]
137/08	…アンモニウムまたはアミン塩 [4]
137/10	…チオ誘導体 [4]
A	金属塩〔 ZnDTP: ジチオリン酸亜鉛〕
B	アンモニウムまたはアミン塩
Z	その他のもの
137/12	・りん - 炭素結合を有するもの [4]
137/14	…硫黄を含有するもの [4]
137/16	・りん - 窒素結合を有するもの [4]
139/00	グル - プ C10M127/00-C10M137/00 に分類されない元素の原子を含有する非高分子有機化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [2006.01]
A	ほう酸を含有するもの
Z	その他のもの
139/02	・けい素の酸のエステル [4]
139/04	・けい素 - 炭素結合を有するもの，例、シラン類 [4]
139/06	・金属 - 炭素結合を有するもの（構造不明の金属錯体 C10M159/18） [4]
141/00	メイングル - プ C10M125/00-C10M139/00 の 2 以上のメイングル - プによって包含される 2 以上の化合物の混合物であり，かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
141/02	・少なくとも 1 個の化合物が酸素含有有機化合物であるもの [4]
141/04	・少なくとも 1 個の化合物がハロゲン含有有機化合物であるもの [4]
141/06	・少なくとも 1 個の化合物が窒素含有有機化合物であるもの [4]
141/08	・少なくとも 1 個の化合物が，いおう，セレンまたはテルル含有有機化合物であるもの [4]
141/10	・少なくとも 1 個の化合物がりん含有有機化合物であるもの [4]
141/12	・少なくとも 1 個の化合物が，グル - プ C10M141/02-C10M141/10 に分類されない元素の原子を含有する有機化合物であるもの [4]
143/00	高分子炭化水素または酸化により変性された高分子炭化水素である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
143/02	・ポリエチレン [2006.01]
143/04	・プロペンを含有するもの [4]
143/06	・ブテンを含有するもの [4]
143/08	・5 個以上の炭素原子を有する脂肪族単量体を含有するもの [4]
143/10	・芳香族単量体を含有するもの，例、スチレン [4]

143/12	・共役ジエンを含有するもの [4]	149/12	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
143/14	・非共役ジエンを含有するもの [4]	149/14	・・・縮合反応が関与するもの [4]
143/16	・環式脂肪族単量体を含有するもの [4]	149/16	・・・窒素含有単量体とアルデヒドまたはケトンとの間での [4]
143/18	・酸化された炭化水素、すなわち、高分子化合物の形成後に酸化されたもの [4]	149/18	・・・ポリアミド [4]
145/00	酸素を含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 (酸化された炭化水素 C10M143/18) [4]	149/20	・・・ポリ尿素 [4]
145/02	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]	149/22	・・・ポリアミン [4]
145/04	・・・アルコ - ル、アルデヒド、ケトン、エ - テル、ケタ - ルまたはアセタ - ル基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]	151/00	硫黄、セレンまたはテルルを含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
145/06	・・・飽和カルボン酸または炭酸のアシルオキシ基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]	151/02	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]
145/08	・・・飽和カルボン酸または炭酸のビニルエステル [4]	151/04	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
145/10	・・・カルボキシ基に結合した不飽和基を有する単量体、例、アクリレ - ト、を含有するもの [4]	153/00	りんを含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
145/12	・・・モノカルボン酸 [4]	153/02	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]
145/14	・・・アクリレ - ト; メタクリレ - ト [4]	153/04	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]
145/16	・・・ポリカルボン酸 [4]	155/00	グル - プ C10M143/00-C10M153/00 に分類されない元素の原子を含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
145/18	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られる高分子化合物 [4]	155/02	・けい素を含有する単量体 [4]
145/20	・・・アルデヒドまたはケトンの重縮合体 [4]	155/04	・ほう素を含有する単量体 [4]
145/22	・・・ポリエステル [4]	157/00	メイングル - プ C10M143/00-C10M155/00 の 2 以上のメイングル - プによって包含される 2 以上の高分子化合物の混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
145/24	・・・ポリエ - テル [4]	157/02	・少なくとも 1 個の高分子化合物がハロゲン含有化合物であるもの [4]
145/26	・・・ポリオキシアルキレン [4]	157/04	・少なくとも 1 個の高分子化合物が窒素含有化合物であるもの [4]
145/28	・・・2 個のみの炭素原子を含有するアルキレンオキシドの [4]	157/06	・少なくとも 1 個の高分子化合物が、硫黄、セレンまたはテルル含有化合物であるもの [4]
145/30	・・・3 個のみの炭素原子を含有するアルキレンオキシドの [4]	157/08	・少なくとも 1 個の高分子化合物がりん含有化合物であるもの [4]
145/32	・・・4 個以上の炭素原子を含有するアルキレンオキシドの [4]	157/10	・少なくとも 1 個の高分子化合物が、グル - プ C10M157/02-C10M157/08 に分類されない元素の原子を含有する化合物であるもの [4]
145/34	・・・上記の異なったタイプ 2 以上の [4]	159/00	構造が不明または不明確な化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 (30 個より少ない炭素原子数の炭素鎖を有し構造が不明または不明確なカルボン酸 C10M129/56) [4]
145/36	・・・エ - テル化されたもの [4]	159/02	・天然物 [4]
145/38	・・・エステル化されたもの [4]	159/04	・・・石油留分、例、タ - ル、ソルベント [4]
145/40	・多糖類、例、セルロ - ス [4]	159/06	・・・ワックス、例、オゾケライト、セレシン、ペトロラタムまたはスラックワックス [4]
147/00	ハロゲンを含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]	159/08	・・・脂肪油 [4]
147/02	・炭素、水素およびハロゲンのみを含有する単量体 [4]	159/10	・・・ゴム [4]
147/04	・炭素、水素、ハロゲンおよび酸素を含有する単量体 [4]	159/12	・反応生成物 [4]
149/00	窒素を含有する高分子化合物である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]		
149/02	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物 [4]		
149/04	・・・アミノ基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]		
149/06	・・・アミド基またはイミド基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]		
149/08	・・・ニトリル基に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]		
149/10	・・・窒素含有複素環に結合した不飽和基を有する単量体を含有するもの [4]		

このグループに分類するとき、検索に有用な情報を表していると考えられる反応生成物の反応成分もまた、最後の適切な箇所に分類してもよい。これは、例えば、分類記号の組合わせを用いた組成物の検索を可能とすることが有用であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分类は、「付加情報」として付与される。[8]

- 159/14 • フリ - デル・クラフツ縮合によって得られるもの [4]
- 159/16 • マンニヒ反応によって得られるもの [4]
- 159/18 • 金属錯体 [4]
- 159/20 • 過剰の中和用塩基を有する反応混合物、例、いわゆる過塩基性または高塩基性生成物 [4]
- 159/22 • フェノ - ル基を含有するもの [4]
- 159/24 • スルホン酸基を含有するもの [4]
- 161/00 高分子化合物と非高分子化合物との混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
- 163/00 構造が不明または不明確な化合物と非高分子化合物との混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
- 165/00 高分子化合物と構造が不明または不明確な化合物との混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
- 167/00 高分子化合物と非高分子化合物と構造が不明または不明確な化合物との混合物であり、かつそれらの化合物がいずれも本質的成分である添加剤によって特徴づけられる潤滑組成物 [4]

基材、増稠剤および添加剤の混合物 [4]

- 169/00 いずれも本質的成分であって、先行の各グループに包含される基材、増稠剤または添加剤から選ばれる少なくとも2つのタイプの配合成分の混合物を成分として含有することによって特徴づけられる潤滑組成物 [4]
- 169/02 • 基材と増稠剤との混合物 [4]
- 169/04 • 基材と添加剤との混合物 [4]
- 169/06 • 増稠剤と添加剤との混合物 [4]

物理的性質によって特徴づけられる組成物 [4]

- 171/00 もっぱら物理的な基準によって特徴づけられる潤滑組成物、例、基材、増稠剤または添加剤として含有される配合成分が、数値的に特記される物理的性質によってのみ特徴づけられるもの、すなわち、含有される配合成分が物理的には明確化されているが、化学的には特定化されていないかまたは非常に漠然としか示されていないもの（化学的に明確化されている配合成分 C10M101/00-C10M169/00; 石油留分 C10M101/02, C10M121/02, C10M159/04） [4]
- 171/02 • 特定された粘度または粘度指数 [4]
- 171/04 • 特定された分子量または分子量分布 [4]
- 171/06 • 特別な形状または大きさを有する粒子 [4]

水性潤滑組成物 [4]

- 173/00 水を 10% よりも多く含有する潤滑組成物 [4]
- 173/02 • 鉱油または脂肪油を含有しないもの [4]

再生 [4]

175/00 使用済み潤滑剤を有用物にする再生 [4]

- 175/02 • 鉱油系 [4]
- 175/04 • 水性エマルジョン系 [4]
- 175/06 • 限外ろ過または浸透によるもの [4]

調製または後処理 [4]

- 177/00 潤滑組成物の特別な調製方法；潤滑組成物の個々の成分または全体の後処理による化学的変性で、他のクラスに包含されないもの [4]

